

安倍総理の東アジア協力案件

1. アジア・ゲートウェイ構想

◎次の3つの理念を基本とし、アジアとの連携の強化及びその発展のために中核的な役割を果たすべく、人、物流、産業、金融、文化、情報の分野など、幅広い分野で施策を進める。

①「開放的で魅力ある日本」、②「開かれたアジア」、③普遍的価値の共有を基本に相互理解と信頼を深め、多様性を受容し、共生する。

2. エネルギー安全保障

①省エネルギー推進

今後5年間で域内から1,000名の研修生を受入れ。「アジア・省エネ協力センター」設置。

②バイオマスエネルギーの推進

バイオマス分野専門家育成のため、今後5年間で500名の研修生を受け入れ。

③石炭のクリーンな利用

石炭液化支援センターを建設し専門家育成。クリーン・コールに関する技術協力実施。

④エネルギー貧困の解消

今後3年間で20億ドル規模のエネルギー関連ODAを実施

3. 青少年交流

－東アジア・サミット参加国を中心に今後5年間毎年6,000名程度の青少年を招へい(350億円)。

－ASEAN40周年を記念し、ASEANと協力して「東アジア青年の船」事業を立ち上げ。

4. 日 ASEAN 包括的経済連携協力基金(5,200万ドル(約58億円))

◎対ASEAN支援=1,100万ドル(知財保護整備=540万ドル、防災=560万ドル)

◎CLMV(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)支援=4,100万ドル

5. 鳥インフルエンザ対策

◎06年1月の北京会合での1億5500万ドルの拠出表明に加え、6,700万ドルを追加拠出。

6. 防災

①05年4月に表明した「今後5年間で防災分野で25億ドル以上の支援を行う」との目標達成に向け引き続き努力。(2005年度にアジアを中心に8億ドル以上の防災協力を実施。)

②アジア防災センター(神戸)による総額300万ドルの防災プロジェクトを支援

(ASEAN対象:防災教育、行政研修、地球観測データの活用、災害データベース整備)

③国際津波・地震フォーラムの開催(2007年1月15-16日・神戸)

④ASEANの防災体制整備に向けた機材供与のため、560万ドルの支援を実施。(4.の基金を活用)

7. メコン地域に対するODAの拡充

◎今後3年間、メコン地域をODAの重点地域とし、メコン地域各国に対するODAを拡充。

◎日 ASEAN 経済連携促進のための基金によるCLMV支援を実施。(4.の基金を活用)

8. 平和構築分野での人材育成

◎アジア各国から人材を招へいし、平和構築の現場で活動できる人材を育成。

9. 経済連携に関する民間専門家研究の開始

◎地域の経済連携に関する、EAS参加16か国の民間専門家による研究開始を提案。

10. 普遍的価値の共有

◎東アジアの長期的安定と繁栄のため、普遍的価値の共有と定着に向けた支援を強化。